

# 都市再生整備計画

きゅうかつやまじょうかしゅうへんちく  
旧勝山城下周辺地区

フクイケン カツヤマシ  
福井県勝山市

平成16年5月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	福井県	市町村名	勝山市	地区名	旧勝山城下周辺地区	面積	54 ha
計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度				

目標

大目標: 歴史的まちなみや伝統行事が息づくまちなかを活性化し、にぎわいのある中心市街地の創出

目標1 自然遺産、歴史・文化遺産、産業遺産を活かし、広域的な観光と結びつけ、中心市街地の再生を図る中で、来街者をまちなかに誘導し、にぎわいを創出する。

目標2 交流の拠点整備を図ることで、市民と来街者が様々な交流をするまちづくりへの促進を図る。

目標設定の背景

まちづくりの経緯及び現況

・旧勝山城下周辺地区は、九頭竜川や大清水(おおしょうず)などの「水」、弁天様、寺社の社などの「緑」、そして、旧勝山城下の雰囲気や今に伝える寺社仏閣や町屋、織物のまち勝山の雰囲気を残す住時の織物工場など「自然遺産、歴史・文化遺産、産業遺産」が調和したまちなみを形成しているが、モータリゼーションの進展、郊外への立地化の進行により、既存商店街の空洞化、居住人口の減少など中心市街地の衰退が進んでいる。また、交通結節点であるえちぜん鉄道勝山駅周辺やまちなかの体系的な整備がされていなく、市民や来街者に安心して、楽しく散策できる対応ができていないのが現状である。

・第4次勝山市総合計画では、エコミュージアム構想推進のしくみづくりで、「エコミュージアムの地域づくりの活動拠点の整備」を掲げ、情報発信機能や住民参加活動の場としての地域交流センターが位置づけられている。

・平成12年度「復興」、「再生」を目指して、「ふるさとルネッサンス」の理念のもと、勝山市エコミュージアム推進計画が策定され、地域住民が「わがまちげんき発掘事業」などで、遺産の再発掘に取り組んでいるところである。

市民は、このような取り組みの中で、まちに対する愛着が高まりつつあり、まちづくりへの関心の度合いも高くなってきている。

・勝山市都市計画マスタープラン策定にあたり、「中心市街地まちなみウォッチング」を実施する中で、まちなかの良い所、悪い所を検証し、2回のワークショップで延べ80人の市民参画の下、中心市街地の整備課題について議論し、策定に反映させた。

・施設整備の具体的デザインを策定するにあたり、平成15年度、地域住民で組織した「まちなか整備推進会議」を立ち上げ、これまでに3回のワークショップ(延べ参加人数110人)、まちづくり講演1回、先進地視察1回実施し、また、豊かな大清水の復活を願い地元住民が清掃活動に取り組んだところである。このように住民参加の取り組みが進められ、まちづくりへの機運が高まっているところである。

課題

・勝山市では、伝統的祭り、中世の遺構がある平泉寺、法恩寺山リゾートエリア(スキージャム勝山)、長尾山総合公園(県立恐竜博物館)等に年間入込み客数130万人あるが、市民や来街者を中心市街地へ呼び込み経済効果をもたらすためには、にぎわいの創出が最大かつ緊急の課題である。

・城下町としての風情や古いまちなみを形成し、豊かな自然景観を背景とするこの地区を、市民や来街者に分かりやすく、楽しく回遊でき、まちなかでの滞在時間の増加を図るためには、交流拠点整備及び散策路の整備が必要である。

将来ビジョン(中長期)

☆歴史的市街地の再生と中心市街地の活性化を結合するまちづくり

・第4次勝山市総合計画では、中心市街地の活性化に向けて、各種資源を活かし、まちなか交流施設の整備・充実、多様なイベント企画の推進、まちなか整備の推進等の施策が掲げられ、にぎわいの創出と活力あるまちづくりが方針とされている。

・勝山市都市計画マスタープランでは、この地域を「歴史を守り、活かすまちづくり」、「身近な自然と暮らしが息づくまちづくり」、「訪れる人と交流するまちづくり」、「市民サービスの中核として充実したまちづくり」を基本方針としている。

・勝山市エコミュージアム構想では、豊かな自然との共生のもと「ひと」を大切にする参加と交流の「まち」づくりが基本理念として掲げられている。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 来街者数	人/年	伝統的祭りやイベントへの来街者数	まちなかの空間の認知を得て、入込み客数をまちなかに誘導し、中心市街地の活性化を図る。	11万7千人	平成16年度	15万人	平成20年度
2. 乗降客数	人/年	えちぜん鉄道勝山駅の乗降客数	まちなか整備により、勝山市全体のイメージアップを図ること、駅周辺整備との相乗効果の中で、鉄道利用者数増を図る。	33万6千人	平成16年度	38万人	平成20年度
3. 商店数	店舗	本町通り商店街振興組合商店数	空き店舗の増加を食い止め、来街者増を図る中で、もてなしのある店舗数の増加を目指す。	44店舗	平成16年度	48店舗	平成20年度
4. イベントの開催数	回/年	まちなかにおけるイベントの開催数	平成15年8月にオープンした市民活動センターに登録された団体のネットワーク化により、イベント開催数の増加を目指したまちづくりを進める。	7回	平成16年度	10回	平成20年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1（市民、来街者の交流の拠点の形成、にぎわいの再生）</b></p> <p>・市民や来街者のふれあいの拠点を形成するため、地場産業の繊維や歴史・文化の情報発信、展示機能そして市民ギャラリーを兼ね備えた地域交流センターを既存の旧機業場の建物を活用して整備を行い、隣接してこのセンターと一体的にイベント等が行なえる市民交流広場の整備を行う。</p> <p>・地下水が豊富にあったころのにぎわいの再生を図るため、大清水空間の整備と隣接して流れと触れ合うことの出来、地域のイベント等に活用できる大清水広場整備を行う。</p>	<p>既存建造物活用事業(基幹事業)                      地域生活基盤施設(基幹事業)                      高質空間形成施設(基幹事業)</p>
<p><b>整備方針2（市民、来街者の誘導）</b></p> <p>・市民や来街者が快適に、楽しく散策の出来る空間の創出を図るため、景観性を高めた散策ルートの整備を行い、また、よりわかりやすいまちとするため、総合案内板、サインの整備を行う。</p> <p>・来街者を誘導する玄関口を形成するため、えちぜん鉄道勝山駅舎(国の登録文化財指定)の改装及び駅前に、滞留や憩いの広場整備を行う。</p>	<p>高質空間形成施設(基幹事業)                      地域性格基盤施設(基幹事業)                      乗りやすい公共交通環境づくり支援事業(関連事業、市)                      勝山駅周辺整備事業(関連事業、県)</p>
<p><b>整備方針3（市街地の洪水防止を図る。）</b></p> <p>・中心市街地の流れる都市河川で一級河川大蓮寺川の流下能力を超える水量を地下放水路に分流し、想定される被害を未然に防ぎ、住民の生命と財産を守るため放水路整備を行う。特に、右支線においては、地域交流センター、市民交流広場整備箇所と重複することから、協調しながら事業推進にあたる必要がある。</p>	<p>広域基幹河川改修事業(関連事業、県)</p>
<p><b>整備方針3(まちづくり活動への意識向上)</b></p> <p>・地域住民で組織した「まちなか整備推進会議」では、まちづくりのあり方、具体的デザインのワークショップを行いながら進めているが、より多くの市民にまちづくりへの意識向上を図るため、まちづくり講演会の開催や情報紙の発行を行う。</p>	<p>まちづくり活動推進事業(提案事業)</p>
<p><b>その他</b></p> <p>○交付期間中の計画の管理について                      交付期間中において各種事業を円滑に進め、目標に向けて確実な成果をあげるため、まちなか整備推進会議を定期的に開催し(3ヶ月に1回)、事業の進め方や目標値に向かったの取り組み内容を具体化する検討を行う。</p>	

### <都市再生整備計画の整備方針等>

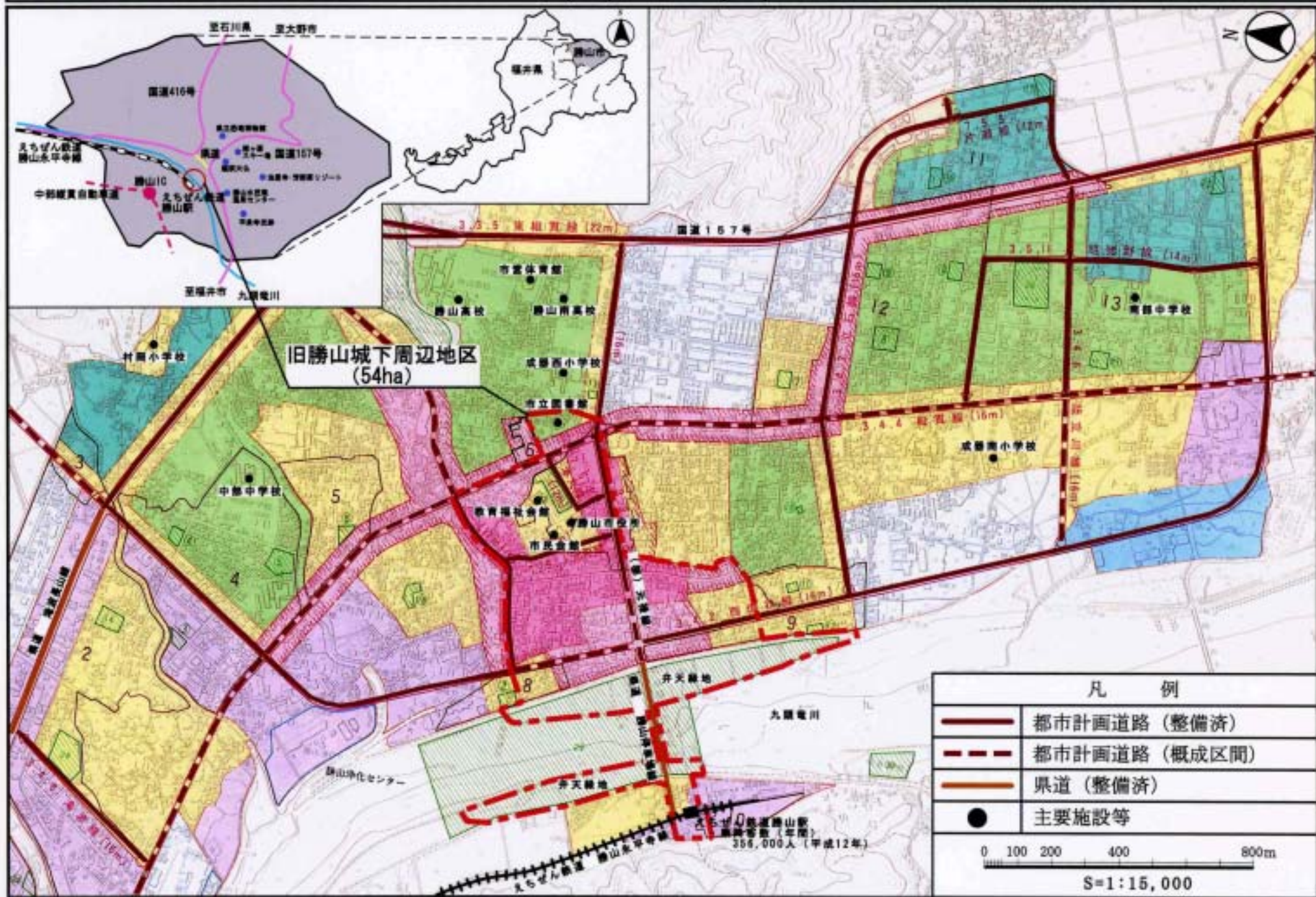
#### 【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・「計画区域の整備方針」欄は、目標を達成するために具体的に何をするのかを簡潔に箇条書きするとともに、欄の右にある「方針に合致する主要な事業」欄に、本計画に位置付けられている事業のうち当該整備方針に合致する主要な事業の事業名を記入すること(1つの事業が複数の方針に合致することもあり得る)。
- ・「その他」欄は、都市再生整備計画に関する事項として、特筆すべき内容があれば記載してください。
- ・その他記載にあたっての留意事項は、「都市再生整備計画策定の手引き」を参照すること。



# 都市再生整備計画の区域

かつやまし 旧勝山城下周辺地区（福井県勝山市）	面積	54 ha	区域	本町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目の全部と 昭和町一丁目、元町一丁目、祝町一丁目、栄町一丁目、速羽町千代田の一部
----------------------------	----	-------	----	-------------------------------------------------------------



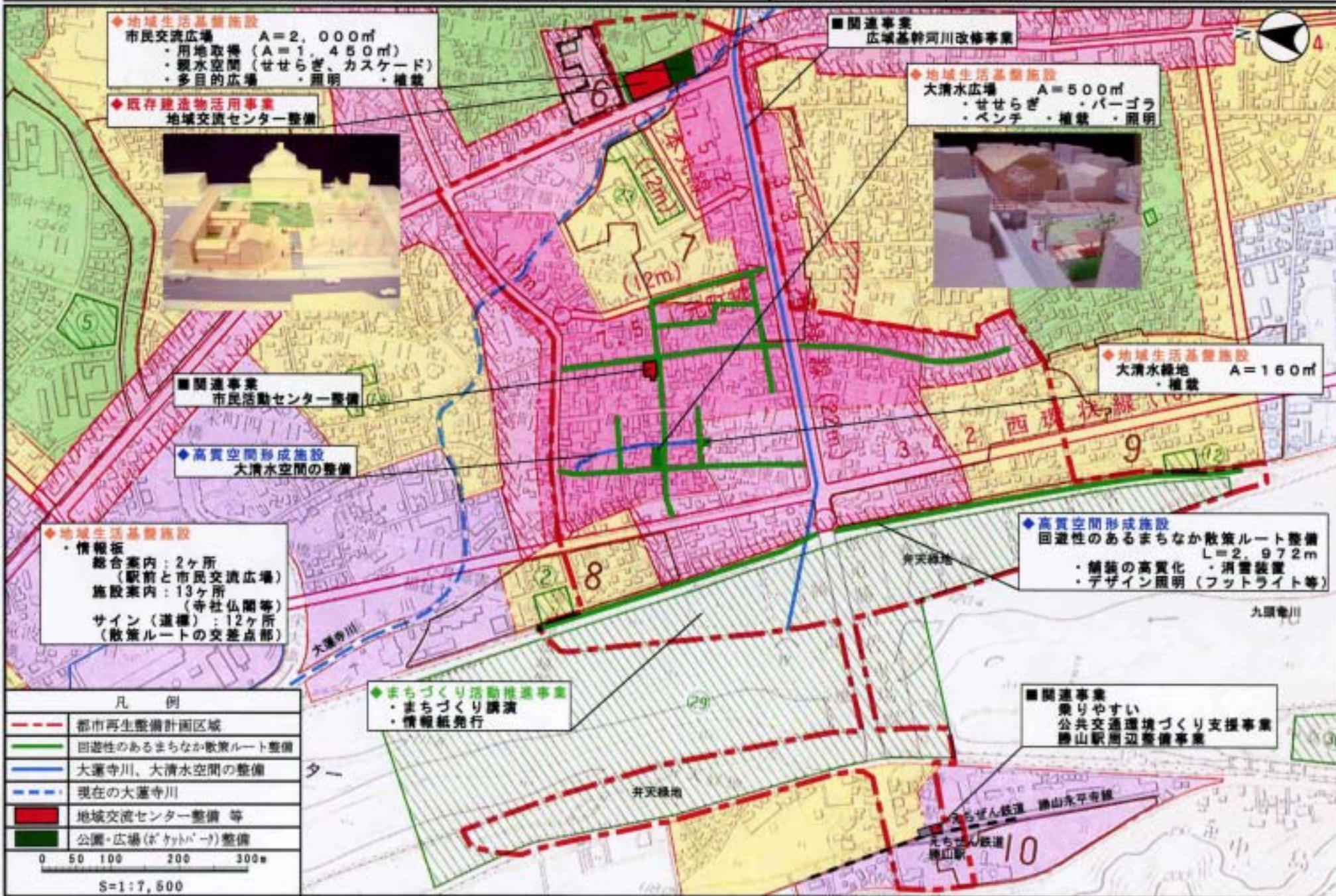
旧勝山城下周辺地区（福井県勝山市） 整備方針概要図

目標

大目標：歴史的なまち並みや伝統行事が息づくまちなかを活性化し、にぎわいのある中心市街地の創出  
 目標1 自然遺産、歴史・文化遺産、産業遺産を活かし、広域的な観光と結びつけ、中心市街地の再生を図る中で、来街者をまちなかに誘導し、賑わいを創出する。  
 目標2 交流の拠点整備を図ることで、市民と来街者が様々な交流をするまちづくりへの促進を図る。

代表的な指標

来街者数（人/年）	117,000人（平成16年度） → 150,000人（平成20年度）
乗降客数（人/年）	336,000人（平成16年度） → 380,000人（平成20年度）
イベントの開催数（回/年）	7回（平成16年度） → 10回（平成20年度）



◆地域生活基盤施設  
 市民交流広場 A=2,000㎡  
 ・用地取得 (A=1,450㎡)  
 ・親水空間 (せせらぎ、カスケード)  
 ・多目的広場 ・照明 ・植栽

◆既存建築物活用事業  
 地域交流センター整備



■関連事業  
 市民活動センター整備

◆高質空間形成施設  
 大清水空間の整備

■関連事業  
 広域基幹河川改修事業

◆地域生活基盤施設  
 大清水広場 A=500㎡  
 ・せせらぎ ・パーゴラ  
 ・ベンチ ・植栽 ・照明



◆地域生活基盤施設  
 大清水緑地 A=160㎡  
 ・植栽

◆地域生活基盤施設  
 ・情報板  
 総合案内：2ヶ所  
 (駅前と市民交流広場)  
 施設案内：13ヶ所  
 (寺社仏閣等)  
 サイン(道標)：12ヶ所  
 (散策ルートの交差点部)

◆高質空間形成施設  
 回遊性のあるまちなか散策ルート整備  
 L=2,972m  
 ・舗装の高質化 ・消雪装置  
 ・デザイン照明 (フットライト等)

◆まちづくり活動推進事業  
 ・まちづくり講演  
 ・情報紙発行

■関連事業  
 乗りやすい  
 公共交通環境づくり支援事業  
 勝山駅周辺整備事業

凡 例

---	都市再生整備計画区域
---	回遊性のあるまちなか散策ルート整備
---	大運寺川、大清水空間の整備
---	現在の大運寺川
■	地域交流センター整備 等
■	公園・広場(がけつぱら)整備

0 50 100 200 300m  
 S=1:7,500

## (参考)年次計画

(事業費:百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
細項目									
基幹事業									
道路									
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設		旧勝山城下周辺地区	勝山市	369	96	9	11	105	148
高質空間形成施設		旧勝山城下周辺地区	勝山市	578	156	202	97	34	89
高次都市施設									
既存建造物活用事業		旧勝山城下周辺地区	勝山市	480	47	88	192	131	22
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
地区再開発事業									
人にやさしいまちづくり事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型								
	沿道等整備型								
	密集住宅市街地整備型								
	耐震改修促進型								
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				1,427	299	299	300	270	259
提案事業									
地域創造 支援事業									
事業活用 調査									
まちづくり活 動推進事業		まちづくり講演、情報紙発行	旧勝山城下周辺地区	勝山市	3	1	1		1
計				3	1	1	0	0	1
合計				1,430	300	300	300	270	260